

国土交通省 新技術情報提供システム
NETIS登録 No.KK-170037A

基安労発0530第2号、基安化発0530第2号
剥離作業：湿潤化 準扱品



アケア
アケアDX

鋼構造物用 水系塗膜剥離剤

大伸化学株式会社
DAISHIN CHEMICAL CO.,LTD.

人にも環境にもやさしい、 鋼構造物用 水系 塗膜剥離剤 ペリカンリムーバー 「アクア」「アクアDX」。

塗膜除去の従来工法には、有害物質の飛散、騒音の発生、
大量の産業廃棄物量といった課題があります。
ペリカンリムーバーは従来工法の課題を解消し、
すぐれた環境性・作業性・経済性を実現します。





-背景-

従来工法の課題を受けて、平成26年5月30日に「鉛等有害物を含有する塗料の剥離やかき落とし作業における労働者の健康障害防止について」という通達が厚生労働省より出されました。この通達により、鉛等有害物を含有する塗料の剥離作業においては、鉛中毒予防規則等関係法令に従い、湿潤化して行わなければなりません。

有害物質を含む塗膜剥離作業には、剥離剤を使用した工法が有効です。

有効成分が塗膜の深部にまで浸透し、効率的に剥離します。

塗布しやすく、タレにくい。

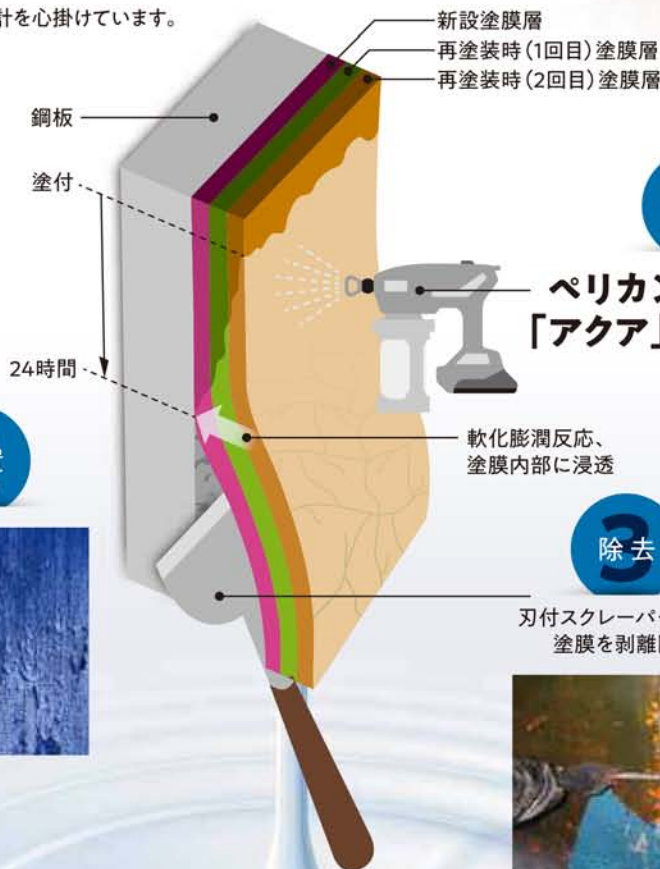
ペリカンリムーバーは現場目線の設計を心掛けています。

作業性

塗布しやすい滑らかさとタレにくい粘度を併せ持つため、足場内作業環境の汚染を回避。

安全性

低臭気・低刺激性のため、塗布作業の負担を軽減。
非危険物のため、塗膜剥離作業における火災発生リスクを低減。



1 塗布



2 放置



3 除去

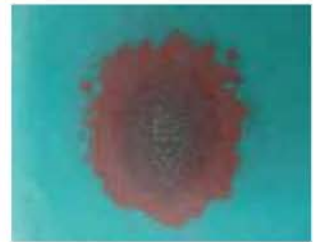
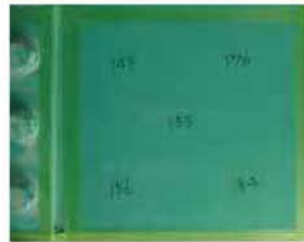




施工手順例

事前
確認

本施工における既存塗膜の剥離可否や
放置時間等を確認する為、
事前試験を行うことを推奨します。



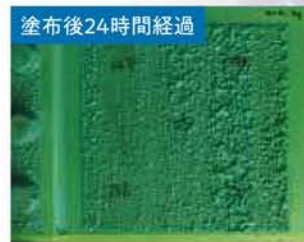
1
塗布

エアレススプレー、刷毛、
ローラー等を使用して塗布します。
【標準塗布量は、0.5~1.0kg/m²】



2
放置

所定の時間放置し、
塗膜を十分に軟化させます。
環境温度は5℃でも軟化可能ですが、
10℃以上がより効果的です。



3
除去

刃付スクレーパー等を使用して
掻き落としを行い、
適切に剥離塗膜の集積を行います。



完了

※保護具 (PL3グレードのカートリッジ
を装着した電動ファン付き呼吸用保
護具・保護手袋・保護眼鏡等) を着用
し、安全対策を講じて下さい。
※塗膜剥離作業後、再塗装する塗料に
適した素地調整を実施してください。



※剥離状況により、塗布→放置→除去を繰り返します。



鋼構造物用水系塗膜剥離剤 ペリカンリムーバーシリーズ

品名			ペリカンリムーバー アクア	ペリカンリムーバー アクアDX
品種			水系	
pH			中性	アルカリ性
消防法			非危険物	
適用法令 と塗膜剥離性	適用法令	労働安全衛生法	非該当	
		有機則		
		特化則		
	毒物劇物取締法			
	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)			
	塗膜剥離性	A塗装系 ^{※2} (フタル酸系)		○: 剥離可能 (12~24h) ^{※1}
B塗装系 ^{※2} (塩化ゴム系)				
C塗装系 ^{※2} (エポキシ・ポリウレタン系)		△: 軟化可能 (12~24h) ^{※1}	○: 剥離可能 (12~24h) ^{※1}	
フッ素系 ^{※3}		△: 軟化可能 (12~24h) ^{※1}		
無機系				
ガラスフレーク含有塗料		×: 剥離不可		
<p>※1. カッコ内の数値は、剥離剤塗布から軟化するまでの時間になります。(軟化時間は塗料種・膜厚・環境温度により異なります。)</p> <p>※2. 橋梁用塗装系は「鋼道路橋防食便覧(平成26年3版)」を参考にしました。</p> <p>※3. フッ素含有量に応じて剥離性は異なり、その量が多いものでは剥離できない場合も有ります。</p>				
塗装・その他使用器具への影響	金属類	ステンレス		
		鉄		○
		アルミ		
		銅		△
		亜鉛		○
		真鍮		△
	ブリキ		○	
	ゴム類	天然ゴム		
		ブチルゴム		
		ニトリルゴム		
		エチレンプロピレン		×
		ウレタン		
		シリコーン		
	フッ素			
	プラスチック類	アクリロニトリルブタジエンスチレン		×
		ポリカーボネート		
		ポリプロピレン		○
		ポリエチレン		
		塩化ビニル		×
		アクリル		
	フッ素		○	
○: 影響なし △: なるべく使用しない方がよい ×: 使用に適さない				
荷姿形態・容量			 石油缶 16kg	 1Lポリ容器 1kg

【使用上の注意事項】

- ・使用前に事前調査を行い、適正条件を確認したうえで本施工を行ってください。
- ・使用前によく攪拌してください。
- ・原液で使用してください。
- ・泥、苔、鳥糞の上には塗布しないでください。性能低下に繋がる可能性があります。
- ・湿度 85%以上の場合は使用を避けてください。
- ・湿度 85%以下の場合でも、結露が発生している場合は塗布しないでください。
- ・気温 5℃以下の場合、塗膜への浸透力は低下する可能性があります。
- ・剥離作業時に使用する手工具が入らないような狭隙部には塗布しないでください。
- ・施工器具の洗浄には IPA (イソプロピルアルコール)、アセトンをご使用いただくか、弊社推奨の水系クリーナー (非危険物) をご使用ください。
- ・剥離剤の入った容器は密栓し、直射日光の当たらない冷暗所で保管してください。

【安全上の注意事項】

- ・使用前に必ず安全データシート (SDS) をお読みください。
- ・火気類との接触を避けてください。
- ・労働安全衛生法 (有機溶剤中毒予防規則) に準じた保護具を着用して作業を行ってください。
- ・安全衛生保護具には、PL3グレードのカートリッジを装着した電動ファン付き呼吸用保護具を推奨します。
- ・エアレス吹き付け作業時に、ガス状およびミスト状で発生する塗膜剥離剤成分は、防毒マスクの吸収缶を通過するため、必ず除毒機能付きフィルタを使用してください。
- ・作業中は十分な換気を行ってください。
- ・特に剥離剤塗布後の翌朝は作業場内に揮発成分が滞留している場合があるため、十分注意してください。
- ・剥離剤が皮膚に付着する、目に入る、誤って飲み込む、揮発成分を吸い込む等をして体調に変化がある場合は、すみやかに医師の診察を受けてください。

【廃棄上の注意】

- ・廃棄物およびその容器は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ・廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険有害性を十分告知のうえで委託してください。

※本カタログに掲載している内容は、現場での使用条件等によって異なる場合があります。
※本カタログに掲載している製品は、予告なく仕様が変更されることがあります。

■本社

〒105-0012 東京都港区芝大門1-9-9(野村不動産芝大門ビル)
TEL03(3432)4786〈代〉 FAX03(3433)3618

■東京支店

〒343-0851 埼玉県越谷市七左町4-316
TEL048(988)7606〈代〉 FAX048(988)7607

■大阪支店

〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町3-2-6(伏見町KYビル)
TEL 06(6228)1766〈代〉 FAX06(6228)1767

■名古屋支店

〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル)
TEL 052(561)7601〈代〉 FAX052(561)7505

■福岡営業所

〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-10-23(グレースイン赤坂ビル)
TEL 092(741)7223〈代〉 FAX092(741)4095

■仙台営業所

〒980-6007 宮城県仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビルSS30)
TEL 022(217)1631〈代〉 FAX022(217)1653

■越谷工場

〒343-0851 埼玉県越谷市七左町4-316
TEL048(988)1122〈代〉 FAX048(988)1124

■兵庫工場

〒679-2215 兵庫県神崎郡福崎町西治字拝尾860-26(福崎工業団地内)
TEL0790(23)0191〈代〉 FAX0790(22)2725

■樹脂カット事業部(越谷第二工場)

〒343-0852 埼玉県越谷市新川町1-2-3
TEL048(988)1122〈代〉 FAX048(988)1124



大伸化学株式会社
DAISHIN CHEMICAL CO.,LTD.

URL : <http://www.daishin-chemical.co.jp>

代理店・販売店